

2026.03

# ヘルメット取付資料

B+COM  
7X<sup>EVO</sup>

×

OGK KABUTO  
AEROBLADE-6



# 取付前の準備

## 1. 取付準備

OGK KABUTO ヘルメット「AEROBLADE-6」の B+COM 取付方法をご紹介します。



## 2. B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。



## 3. パッド取外し

ヘルメットのチークパッドとイヤークップを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。

※内装は KAMUI-5 のものですが同様です。



## スピーカーの取付

※内装は KAMUI-5 のものですが同様です。

## 4. 調整パッドの活用

耳とスピーカーの隙間を調整することで、本来の音量、音質が得られます。

※調整パッドをご使用してください。

耳が押されて痛い場合は外してください。



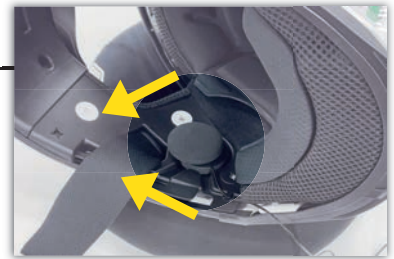
## 5. 面ファスナーの活用

イヤークリップ部に取付けられている面ファスナーで取付けは可能ですが、固定力が不足する場合は、「スピーカー固定用面ファスナー」の使用してください。



## 6. 右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツです。**



## 7. スピーカー配線 1

ヘルメット後方右側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



## 8. スピーカー配線 2

ヘルメット後方左側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



## 9. 左側スピーカー取付け

スピーカーの左耳側を取付けます。



## ワイヤーマイクの取付け

※画像は KAMUI-5 のものですが同様の方法で進めてください。

## 10. マイクスポンジ取付け

ヘルメットのチンガードの裏側、風の影響を受けやすいエアインテークを避けた上よりの位置にワイヤーマイクスポンジを貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。  
※エアインテークを避けた、左上に貼付けてください。



## 11. ワイヤーマイク取付け

チークパッド内側のスナップを避けて配線しながら、ワイヤーマイクを取付けます。

※穴の空いている方が、集音する方向です。口元に向けてご使用ください。



# 面ファスナーの組立て

## EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、面ファスナーのフックを用意します。



## EX2. 面ファスナー大の貼付け

貼付部の角に合わせてながら、面ファスナー大を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで脱脂します。



## EX3. 面ファスナー小の貼付け

貼付部の角に合わせてながら、面ファスナー小を貼付けます。



## EX4. 完成

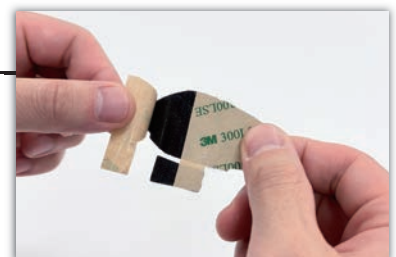
貼付部の角に合わせてながら、保護ラバーの大きをそれぞれ貼付けます。



# ヘルメットへの面ファスナーループの貼付け

## 12. 面ファスナーループの貼付け 1

面ファスナーのループは剥離紙が縦半分に別れます。半分剥がしてヘルメットにつけると、大・小を正確に貼ることができます。



## 13. 面ファスナーの貼付け 2

右の画像を参考に面ファスナーのループ大・小を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで脱脂します。

※貼付け後、約 24 時間保管しご使用ください。



## 14. マグネットクレードルの貼付け

マグネットクレードルを貼付けます。



## 配線方法

### EX. AEROBLADE-6 の特徴

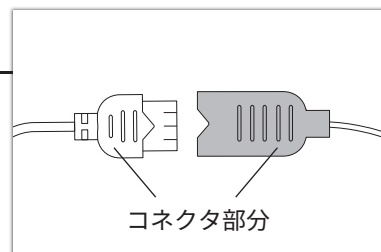
チークパッドのヘルメット後方側の芯材の穴にケーブルを通します。通すことで配線がスムーズに収納できます。



## 15. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、それぞれのスピーカー、マイクコネクタを接続します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。



## 16. チークパッド取付け 1

各配線に無理な負担がかかったり、噛み込んだりしないよう注意し、左右それぞれチークパッドを差込みます。



## 17. チークパッド取付け 2

ケーブルをホックで挟み込んだり、折れたりしないよう注意し、ホックをとめます。



# 本体の取付け

## 18. 本体ユニットの取付け

---

本体を取付けて完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。

